

2018年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年1月12日

上場会社名 株式会社SHIFT 上場取引所 東
 コード番号 3697 URL <http://www.shiftinc.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)丹下 大
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員CFO (氏名)益子 和也 (TEL)03(6809)1165
 四半期報告書提出予定日 2018年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年8月期第1四半期の連結業績(2017年9月1日~2017年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年8月期第1四半期	2,657	94.9	232	903.2	264	605.5	163	-
2017年8月期第1四半期	1,363	19.6	23	△58.1	37	△32.3	9	△75.5

(注) 包括利益 2018年8月期第1四半期 175百万円(959.9%) 2017年8月期第1四半期 16百万円(△56.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年8月期第1四半期	11.34	10.39
2017年8月期第1四半期	0.63	0.58

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年8月期第1四半期	5,501	2,220	37.9
2017年8月期	5,330	2,117	36.1

(参考) 自己資本 2018年8月期第1四半期 2,087百万円 2017年8月期 1,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2018年8月期	—	—	—	—	—
2018年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年8月期の連結業績予想(2017年9月1日~2018年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,600	64.9	400	437.3	400	307.4	270	895.8	18.73
通期	12,500	52.9	900	129.9	900	104.2	600	187.5	41.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規一社(社名) 、除外一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2018年8月期1Q	14,492,500株	2017年8月期	14,490,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2018年8月期1Q	78,760株	2017年8月期	78,760株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2018年8月期1Q	14,412,092株	2017年8月期1Q	14,396,211株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式(2018年8月期1Q 78,600株、2017年8月期 78,600株)が含まれております。また、期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております(2018年8月期1Q 78,600株、2017年8月期1Q 78,600株)。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財務状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、中国経済の下振れや北朝鮮情勢などの地政学的リスクもあり、世界経済の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループがサービスを提供するソフトウェア関連市場においては、インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー (ICT) を駆使した革新的な金融商品・サービスの潮流であるフィンテック (Fintech) や拡張現実 (AR)、仮想現実 (VR)、人工知能 (AI) といった新たな技術・コンテンツの出現や、技術や製品の高度化・複雑化が進んでいる一方で、個人情報の漏えいに代表されるセキュリティ問題などの課題も依然として顕在化しております。

こうした経営環境の中、当社グループでは当連結会計年度を売上高1,000億円企業に向けた、2つ目の通過点である成長戦略「SHIFT'300 -シフトスリーハンドレッド-」の一年目として位置づけ、品質保証業に向けたサービスの強化と新しい価値の創造、業界No.1のポジショニングのためのアカウント強化、人材の強化・育成を重点課題として取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、前第1四半期連結会計期間末に当社グループに迎え入れたバリストライドグループ株式会社の業績を当期は3カ月間にわたって連結業績に取り込んだという要因もありますが、前連結会計年度から積極的に取り組んでおりました人材に対する投資が結果として現れ、売上高2,657,642千円（前年同期比94.9%増）、営業利益232,897千円（前年同期比903.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163,417千円（前年同期比1703.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①エンタープライズ市場

エンタープライズ市場では、金融業、流通業、製造業、通信業、ウェブサービス業など社会基盤を支える企業における業務システムや情報システムにおいて、ソフトウェアの品質保証に関するサービス全般を提供しております。

当第1四半期連結累計期間では、前連結会計年度より特にIT投資規模が大きい金融・流通各分野を注力業界として定め取り組んだ結果、長期的な関係構築を視野に入れたプロジェクトへの参画が進み、こうした新規顧客からの売上高が徐々に増加してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間のエンタープライズ市場の売上高は2,314,006千円（前年同期比118.4%増）、営業利益は510,791千円（前年同期比128.3%増）となりました。

②エンターテインメント市場

エンターテインメント市場では、モバイルゲーム、ソーシャルゲーム、コンシューマゲーム等を消費者に向けて提供するお客様に向け、品質管理工程やデバック業務のアウトソーシング、カスタマーサポート業務のアウトソーシングにより、お客様ビジネスの付加価値を向上させるサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間では、競合との差別化を図ることによる業界内認知度の向上や、既存顧客からの売上高が増加したことにより、収益基盤の拡大を進めました。この結果、当第1四半期連結累計期間のエンターテインメント市場の売上高は343,636千円（前年同期比12.9%増）、営業利益は98,788千円（前年同期比13.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ170,790千円増加し、5,501,577千円となりました。これは主に、現金及び預金が39,880千円、売掛金が90,503千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比べ68,182千円増加し、3,281,217千円となりました。これは主に、買掛金が37,008千円、賞与引当金が33,408千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ102,608千円増加し、2,220,360千円となりました。これは主に、非支配株主持分が60,436千円減少した一方で、利益剰余金が163,417千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月期の業績予想につきましては、2017年10月11日に公表いたしました数値を修正しております。詳細につきましては、本日(2018年1月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,977,028	2,016,909
売掛金	1,272,701	1,363,204
たな卸資産	20,624	39,912
その他	143,257	167,949
貸倒引当金	△7,627	△8,142
流動資産合計	3,405,984	3,579,833
固定資産		
有形固定資産	239,064	235,476
無形固定資産		
のれん	730,315	709,424
その他	127,664	136,597
無形固定資産合計	857,980	846,022
投資その他の資産	827,757	840,245
固定資産合計	1,924,802	1,921,744
資産合計	5,330,786	5,501,577
負債の部		
流動負債		
買掛金	225,570	262,579
1年内返済予定の長期借入金	342,883	361,663
未払費用	445,050	472,126
未払法人税等	123,167	136,103
賞与引当金	44,509	77,917
その他	320,790	365,092
流動負債合計	1,501,972	1,675,483
固定負債		
長期借入金	1,654,459	1,548,868
その他	56,602	56,864
固定負債合計	1,711,061	1,605,733
負債合計	3,213,034	3,281,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	578,269	578,519
資本剰余金	533,081	533,331
利益剰余金	875,720	1,039,137
自己株式	△60,175	△60,175
株主資本合計	1,926,895	2,090,812
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,700	△3,572
その他の包括利益累計額合計	△2,700	△3,572
新株予約権	2,540	2,540
非支配株主持分	191,017	130,580
純資産合計	2,117,752	2,220,360
負債純資産合計	5,330,786	5,501,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年9月1日 至2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日)
売上高	1,363,940	2,657,642
売上原価	964,381	1,878,184
売上総利益	399,559	779,458
販売費及び一般管理費	376,342	546,561
営業利益	23,216	232,897
営業外収益		
受取利息	10	129
為替差益	9,156	5,035
助成金収入	2,400	26,228
その他	3,595	1,857
営業外収益合計	15,162	33,251
営業外費用		
支払利息	928	1,858
その他	-	93
営業外費用合計	928	1,952
経常利益	37,449	264,196
税金等調整前四半期純利益	37,449	264,196
法人税等	21,868	87,494
四半期純利益	15,581	176,701
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,519	13,284
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,061	163,417

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年9月1日 至2016年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日)
四半期純利益	15,581	176,701
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,008	△872
その他の包括利益合計	1,008	△872
四半期包括利益	16,589	175,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,070	162,544
非支配株主に係る四半期包括利益	6,519	13,284

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2016年9月1日 至 2016年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エンタープライズ 市場	エンターテインメ ント市場	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,059,657	304,283	1,363,940	—	1,363,940
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,059,657	304,283	1,363,940	—	1,363,940
セグメント利益	223,758	86,721	310,479	△287,263	23,216

(注) 1. セグメント利益の調整額△287,263千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エンタープライズ 市場	エンターテインメ ント市場	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,314,006	343,636	2,657,642	—	2,657,642
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,314,006	343,636	2,657,642	—	2,657,642
セグメント利益	510,791	98,788	609,580	△376,683	232,897

(注) 1. セグメント利益の調整額△376,683千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、ソフトウェアテストを中心とするソフトウェアの品質保証サービス全般を提供しております。これを従来は、「ソフトウェアテスト事業」及び「その他の事業」と説明してまいりましたが、前連結会計年度より、「エンタープライズ市場」と「エンターテインメント市場」の2つの報告セグメントに変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しており、前連結会計年度に開示した第1四半期連結累計期間に係るセグメント情報の利益又は損失の算定方法との間に相違が見られます。